

# 広告

企画・制作 / (株) 宣通  
TEL. (052) 979-1602

## 健康講座 ドクター

# Q&A

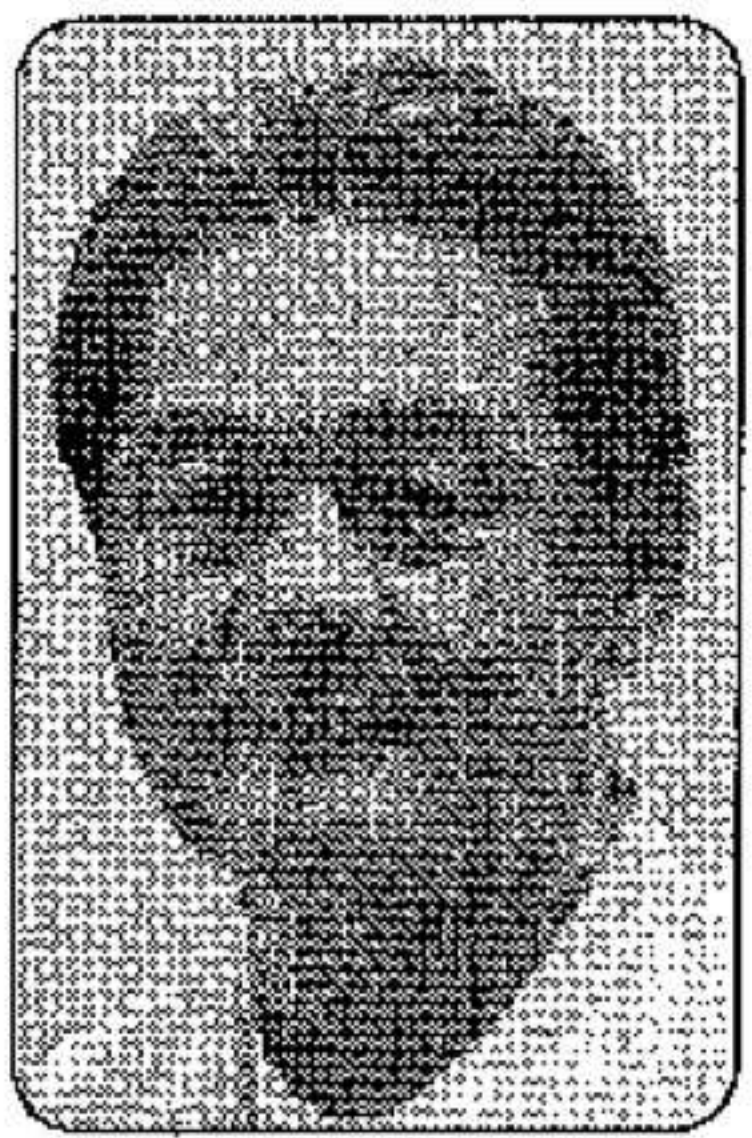
**Q** トイレが近くなり悩んでいたところ、友人から

「前立腺肥大症では」と言われまして。前立腺肥大症は尿が出にくくなる病気だと思っていたのですが、頻尿にもなるのですか。

**A** 前立腺肥大症による頻尿は、主に肥大した前立腺が尿道や膀胱を圧迫することによるものです。前立腺は膀胱の下に位置し、尿道を取り囲むように存在します。前立腺の肥大により尿道が圧迫されて尿の流れが妨げられ、尿が膀胱内に残りやすくなります。また、膀胱は尿を排出しようとして頻りに収縮しようとするため、結果的に頻尿となり、尿が漏れることもあります。

このような状態のまま我慢し続けると、残尿に細菌が増殖しやすくなり、尿路感染症のリスクが高まり、結石が形成されることもあります。さらに膀胱の筋肉が劣化し、膀胱の収縮力が弱まり、突然尿が出なくなることもあります。尿が腎臓に逆流し、慢性的な腎機能低下を引き起こす原因となります。

これらのリスクを避けるためにも、前立腺肥大症の症状が現れた場合には、早期の診断と治療が重要です。適切な治療を受けることで、これらの合併症を予防し、生活の質を維持することができます。



院長 折笠 一彦  
(仙台腎泌尿器科)

1994年福島県立医科大学卒業。  
1998年東北大学大学院泌尿器科学専攻卒業。  
八戸市立市民病院、東北労災病院、白河厚生総合病院、東北大学病院、気仙沼市立病院勤務。  
2022年4月より仙台腎泌尿器科。